

第六回千曲市総合運動公園基本構想策定協議会 会議録

1. 会議概要

(1) 開催日時：令和5年2月7日（火） 14：00～16：00

(2) 開催場所：千曲市役所 3階 301大会議室

(3) 出席者

協議会委員：佐々木委員、小沼委員、林委員、北村（勝）委員、瀬在委員、諸井委員、塚田委員、小林委員、高村委員、早志委員、児玉委員、清水委員、千曲建設事務所 長澤（徹）企画幹兼整備課長、千曲川河川事務所 寺田副所長、湯本建設部長、島田教育部長、宮尾健康福祉部長、竹内市民環境部長
事務局：町田スポーツ振興課長、中村スポーツ振興係長、小山施設整備係長、青木主事、中村生活安全課長、中山市民生活係長、丑澤主事、吉池都市計画課長、山本技幹兼計画係長、轟施設係長、池田主任、まちづくりアドバイザー 松林氏、信州地域デザインセンター 河原氏、竹内氏、調氏、株式会社KRC（小林、藤岡、東海林）

(4) 欠席者

協議会委員：北村（早）委員、新井委員、山崎委員、栗原企画政策部長

(5) 次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - (1) これまでの経過
 - (2) 千曲市総合運動公園基本構想（案）について
 - (3) 総合運動公園基本構想案のパブコメ結果について
 - (4) 今後の予定について
- 4 市長へ提出
- 5 市長あいさつ
- 6 その他
- 7 閉 会

(6) 提示資料

- ・第六回協議会 送付資料一覧表
- ・千曲市総合運動公園基本構想策定協議会 第六回協議会 次第
- ・資料1 基本構想策定までのフローと第六回の位置づけ
- ・資料2 千曲市総合運動公園基本構想(案)
- ・資料3 第五回千曲市総合運動公園基本構想策定協議会 会議録
- ・資料4 総合運動公園基本構想(案)に対する意見募集結果(案)
- ・資料5 サウンディング型市場調査等の経過報告
- ・資料6 今後の予定について
- ・当日資料 千曲市総合運動公園基本構想表紙(案)

2. 議事に関する質疑応答・意見交換

(1) これまでの経過

<資料1説明後>

- ・質疑なし

(2) 千曲市総合運動公園基本構想(案)について

(3) 総合運動公園基本構想案のパブコメ結果について

<(2)(3)については一括して説明>

<資料2、資料3、資料4 No. 1～10 説明後>

佐々木会長：この回答は市のHPで公開されるのか。

→事務局：そうである。

北村(勝)委員：No. 4の「幼稚園でも使用したいので駐車場は広くしてほしい」の答えとして、「個別施設に対する要望としてお受けいたします」という文言は必要ないと思う。そのあとに回答がきちんとなされていて、「駐車場については、基本的には公園内の施設利用において必要な規模を確保してまいります」とあり、これでよろしいのではないか。

→事務局：ご意見をふまえて事務局で検討したい。

宮尾委員：No. 1に「次世代を担う人材育成」とあるが、千曲市総合運動公園基本構想(案)のp46では「次代を担う人材育成」なので合わせたほうがよい。

→事務局：「次代」で統一する。

児玉委員：No. 5の白鳥園とびんぐし湯さん館との違いについて答えが読みとれないので、教えてください。

→事務局：違いについて、具体的な内容を示さずに抽象的な表現でまとめた。「他のエリアや周辺施設と連携を図りながら、立地条件を活かして、他にはないこの場所ならでの魅力を生み出していくことが重要と考えています」という考え方を示している。

佐々木会長：白鳥園エリアという空間のなかにある温泉施設ということが違いということであろう。

<資料 4 No. 11～20 説明>

- ・質疑なし

<資料 4 No. 21～30 説明>

- ・質疑なし

<資料 4 No. 31～35 説明>

林委員 : 「個別施設に対するご要望としてお受けいたします」という文言は必要なのか。

→事務局 : 事務局として考えるところがあり、パブリックコメントは総合運動公園全体の基本構想に対するものなので、例えば野球場や体育館のバスケットコート大きさ等についてパブリックコメントで提示しているわけではないという意味合いで、個々の施設名称が出てくる部分については、今後の個別施設についての検討の部分であるという意味合いで回答に入れた。市としてはこのような回答をしている。

林委員 : あまり必要はないという感じがするので、再度検討していただきたい。

No. 14 の「ご意見のとおりと考えます」という表現は変えたほうがよいのではないかと。「次年度以降に策定する計画の中で、避難所としての機能も必要だと考える」というような文言にして、同調するという表現ではなく検討させていただくというような表現のほうがよいと思うので検討いただきたい。

→事務局 : 工夫をしたいと思う。

佐々木会長 : 千曲市総合運動公園基本構想（案）に対する意見募集結果については、修正箇所を修正したものを公開するということによろしいか。なお、修正した内容については、会長の私に一任いただければと思う。

→全員 : 異議なし。

(4) 今後の予定について

○サウンディング市場調査等の経過報告

<資料 5 説明>

○今後の予定

<資料 6 説明>

- ・パブリックコメントの回答 HP 公開 2月15日(水) (予定)
- ・市議会特別委員会への報告 2月21日(火)
- ・部長会議で最終確認・決定 3月中旬
- ・千曲市総合運動公園基本構想の公表 3月31日(金)
- ・市報の記事にて掲載 4月

佐々木会長 : 全ての資料、内容に関する説明が終了した。最後の質疑応答の時間を設ける。意見のある方はいるか。

早志委員 : 高校や中学校へ出向いて生徒と一緒に討論する等、もっと若い人たちの意見を取り入

れて具体的な話を進めると、もっとまち全体に気運が高まるのではないか。市民はコンセプトにはほとんど興味がなく、どんなものができるのか具体的なものをみて判断する。どんなにコンセプトが立派でも、できたものが不要なものであればコンセプトは無駄になるのでよろしくお願ひしたい。白鳥園とびんぐし湯さん館との違いについて、行政は言いにくいと思うがびんぐし湯さん館は皆さんが必要な温泉施設をつくった。白鳥園はたいして必要でないものをつくった。これだけの違いだと思う。ぜひこの公園に関しても、皆さんが必要とするような公園になるようにというコンセプトを活かしていただけたらと思うので、よろしくお願ひしたい。

佐々木会長：個別の施設に関してはこれからで、これからが大変だという話だったと思う。若い人たちの意見を聞くのは本当に重要だと思うので、これからも考慮をお願ひしたいと思う。

塚田委員：この運動公園はいつ頃できあがる予定なのか。計画だと20年先になってしまう。パブリックコメントで回答をしているという部分はあるが、協議会のなかで説明できる部分があれば説明いただきたい。

→事務局：千曲市総合運動公園基本構想（案）p60に大まかなスケジュールを載せている。戸倉体育館エリアのスポーツ施設の話だったと思うが、いま時点では時期は確約できない。短期、中長期という書き方しかできず、戸倉体育館エリアについては令和10年に国民スポーツ大会があるので、時間的に整備が遅れることもある。白鳥園エリアについては実施設計等が進んでいるので、早ければ令和6年度くらいには整備ができるのではないか。河川敷エリアは具体的ではないが、令和5年度に河川敷エリアに特化した整備計画に着手したいと思う。かわまちづくり支援制度を利用するにあたっては、個別の計画が必要になってくる。国へ提出して、承認された内容で整備ができるので、最短でも令和8年度くらいになると考えている。大規模な事業になるので、引き続きご理解とご協力を願ひたい。

塚田委員：4月以降は協議会等はないということによいのか。

→事務局：この協議会は構想策定までのため本日の会議で承認されれば解散になるが、任期が3月末なのでそれまで委員を務めていただければ助かる。次年度以降については具現化に向けての基本計画や整備計画を策定していく時点で、必要であれば検討会議等を設置する。

諸井委員：公園や施設を一つつくるにも、たくさんの市の方が動き、たくさんの考えがあってやっていると勉強になった。子育て関係のパブリックコメントがいくつもあったが、残念ながら返答が全部同じである。子育て世代の意見は、これがほしい、あれがほしいという感じの意見のため、事務局の話聞いて、今回はあくまで構想の意見に対しての返答だからこうなるしかないのかと思ったが、いま千曲市は子育て世代に力を入れていることを前面に押し出しているのであれば、パブリックコメントで貴重な意見を出してくださっている方に対する返答としては少しさみしいと思った。例えばNo.29のインクルーシブ公園についてのコメントにはこれだけ丁寧に返答しているのに、子育て世代に対してはどのような考えでいるのかやや読み取りづらい。子どもたちや子

育て世代にも目を向けているというコンセプトをできるだけわかりやすく教えていただきたいと思っている。

佐々木会長：千曲市総合運動公園基本構想については、原案のとおり決定するという事でよろしいか。なお、修正した内容については、会長の私に一任いただければと思う。

→**全員**：異議なし。

事務局：最終公表が3月31日の予定である。委員の皆様には3月22日頃に完成した千曲市総合運動公園基本構想を郵送させていただく。

佐々木会長：この2年間、忌憚のないご意見を出していただきありがとうございました。公園というのは色々な方が多様な使い方をする場所で、時代とともに使い方や好みも変わってきた。基本構想を策定したが、本当はこの先が大変だと思う。事務局には、そうしたニーズに沿って具体化していくようお願い申し上げる。

全ての審議は終了した。皆様のご協力により基本構想が完成したことに感謝申し上げます。

3. 市長挨拶

本日は、第六回千曲市総合運動公園基本構想策定協議会を開催しましたところ、委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中にもかかわらず、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

さて、令和3年7月に開催した第一回千曲市総合運動公園基本構想策定協議会から始まり、各部会の開催や先進地視察など、委員の皆様には、約2年間にわたり、ご協議をいただきました。ただいま、パブリックコメントによる意見や市民アンケートなども踏まえて、協議会でまとめた「千曲市総合運動公園基本構想」を、佐々木会長より受け取らせていただきました。この基本構想は、単に施設整備を目的としたものではなく、3つのエリアそれぞれとの結び付きや戸倉上山田温泉をはじめとする市内各地域との関連性など、幅広い視野で検討をいただいた構想となっており、市の発展はもとより、市民の期待も大きいものと感じています。

総合運動公園の整備は、市の重要施策の一つであります。その実現に向け、次年度から具体的な検討を始めてまいります。白鳥園周辺における協働の公園整備事業を皮切りに、かわまちづくり計画の検討を進め、基本構想で描いた未来の姿「みんなが集い・憩い・楽しめるコミュニティースポーツパーク」を実現するため、一歩ずつ事業を進めてまいります。また、サウンディング型市場調査などの経験から、民間企業のノウハウも吸収しながら、中長期を見据えた段階的に質の高い施設整備を図ってまいります。

最後になりますが、基本構想策定にご尽力いただきました、委員の皆様にご改めて心から感謝申し上げますとともに、今後も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、御礼の挨拶とさせていただきます。

4. その他

○事務局より千曲市総合運動公園基本構想（案）表紙について連絡

<当日資料配布>

・質疑なし